

がいいのです。といっても、正確に全てを記入できるはずもありません。ここは、いいかげんで構いません。コンピューターミュージックの場合、後でいくらでも簡単に修正が出来るのですから、この機能をフルに活かせばいいのです。

普通、五線紙を使っていて困るのは、間違っているときにきちんとケシゴムで消してしまわないと、あとで判別できないことが往々にしてあることです。その点、コンピューターで音楽を作る場合は、非常に楽です。第一、消しゴムのカスが出ないのです(?)。

とりあえずは、ある程度おおまかなメロディーラインを入力しておけば、一応全体をまとめる目安になります。絵画でいえば、ラフスケッチといったところでしょうか。そのついでに、全体の長さを、つまり何小節位にするのか、そして、そのメロディーはどんな風に使うのか、メモをしておく、後で確認するのに便利です。

ここまでで、メロディーは大体出来上がりました。次回はリズムと和音のことについて、いろいろ研究してみましょう。実際に、楽譜を使って、作業の手順を説明していこうかなあ、なんて構想です。(クマさん)

使用機器についての補足 (ハードウェア及びソフトウェア)

COMPUTER	PC-9801FS
CPU	386SX+VIPER 486にバージョンアップ
拡張メモリ	8M BYTE
出力端子	COME ON MUSIC社 MA-01 (RS-232C端子を使用)
MIDI音源	YAMAHA TG-100
SOFT-WARE	COME ON MUSIC レコンポーザ98/Ver 2.5 普通にインストールすると音源が一つだけ指定されるため、バッチファイルでソフト立ち上げのメニューを作成
MS-DOS Ver5.0A	
プリンタ	EPSON VP-1350
再生音響機器	アンプ 手製プリアンプ&メインアンプ(真空管使用)* スピーカー TANNOY

\* 出来るだけ良い音質で聴くために私はこのような装置を使っていますが、とりあえずはステレオラジカセがあれば充分です。人によっては、音源として、キーボードを使っている人もあります。実際に、私の所有するYAMAHAのクラビノーバでも十分に使えます。

ただ、きれいに録音しようとすると、MIDI音源を使う方が良い結果が得られます。



# 我羅門のネットワーク通信よもやま話

Vol.1 No.4

動網の話も今回で4回目、最終回としようかと思えます。(天の声:動網の話、今回が最後かいな。前回に究極の動網グッズのカプラまで紹介してしまって、もうネタないんちゃうん。)今回は私の動網環境について説明しましょう。というのは、この8月にわたしの動網環境が変化したからです。

私の動網の歴史のようなものを説明する事にしましょう。そうすれば、自動的に動網の器材の説明もできるでしょう。(天の声:だれもそんな話聞きたいと思ってへん。)

私が動網に目覚めたのは、89年の暮れの事でした。それまでも、屋外でパソコンを使いたくて、メインマシンのPC9801VX2とは別に、初のPC9801完全コンパチマシンのエプソンPC-286Lを購入しました。(天の声:それまでも、NECがPC98LTという携帯型のパソコンを出しておったんやけどPC9801と互換性が低くて、もう一つ売れなかったなあ)しかし、さすがに重たく(6Kgぐらいしていたかな)家から外に持ち出すのは数回でした。(天の声:動網の歴史の最初にしては重すぎませ、それにモデムもないだろうし)



さらに、お出かけマシンとして、富士通のFM-11πを購入しました。(天の声:11πを知っている読者はどれくらいおるんやろ)このマシン、MS-DOSをROMで搭載しているだけでなく、ワープロソフトや簡単な端末ソフトも搭載しているし、外部記憶装置としてマイクロカセットテープレコーダを搭載しているといういたせり尽くせりのマシンでした。(天の声:ワープロソフトは、その昔一世を風靡したj-wordでしたな。そうそう昔はパソコンの外部記憶装置としてオーディオカセットテープが使われていたんだよ。)重さはたしか2kg以下と軽かった。けど、ワープロソフトは1世代前のソフトだし、速度も遅かったので使う事が少なかった。(天の声:在庫処分の叩き売りを買ったんだから文句をいうでない。)

それから暫くして、東芝からあのダイナブックというマシンが出た。A4ファイルサイズでパソコンと十分言える仕様で3kgそこそこのマシン。値段も今迄のパソコンの値段を破壊するが如く安かった。動網嗜好のわたしとしては、何も考えずに飛び付きましたよ。(天の声:後先考えんと物を買うやっちゃで、まーこのときから始まった事でないからしゃーないけど)

それから電池駆動の「ポケットモデム」というものが各社から出てきた。(天の声:そのころまでのモデムは、AC100の電源が必須やったんやな。このころ出てきた「ポケットモデム」は、乾電池で動くという動網にとって画期的な商品やったわけや。)本格的な動網をすべく私も「ポケットモデム」を買いました。ダイナブックとポケットモデムのペアは、随分とお世話になりました。東京出張でも使いました。(天の声:持っていっただけ違うんか?)

ダイナブックがバージョンアップしたのにそって386マシンに買い換え、私の動網環境はダイナブック386と2400bpsのポケットモデム、前回説明したカブラという環境になったわけ。しかし、全部トータルするとなんやかんやで4kgは越えていましたね。東京に一泊出張なんかすると他に色々荷物があって、大変でした。



1991年の暮れになると、OASYS-Pocketを購入。前にも説明したとおもうけど、ワープロであり通信端末にもなる携帯型ワープロで、なかなか便利に使えるようになりました。冬はそれこそコートにポケットに入れて出かけたり、出張のお供にしてもビデオカメラとPocketという組み合わせでも何とか持つ事ができました。(天の声:ビデオカメラと携帯型ワープロ?何だそれは。何の出張なんや。)

人間というものはどこまでも食欲で、そんな良い環境でも不満が出てくるものなのです。(天の声:人間全般の話かな?我羅門お前さんだけちゃんうんか、そんなに不満を持つのは、現状に満足せなあかんで。)OASYS-Pocketの通信機能が、やはりパソコンに比べると劣るのです。ホスト登録も3つしかできませんでしたし、9600bpsの通信ができるとはいえ本体の処理能力の限界のため、9600bpsの恩恵をフルに味わう事ができません。そして、やはりパソコンでないという事は、ネットになってきました。

そして、93年夏にマシンを変える事にしました。

93年は動網人(天の声:動網する人という意味ね)にはとても良い一年だったのではないのでしょうか?92年までのノートブックの高性能化、カラー化に一応のピリオドが打たれ、(天の声:勝手な言分やな、メーカーは「ピリオド」を打ってない



で。)メーカーはこぞってノート型より一回り小さい「サブノート型パソコン」を出してきました。(天の声:一方的な見方なや。メーカーは、まだまだ重装備のノート型を出しているやないか。)しかもメーカーによってはWindowsまで視野に入れた高性能なマシンスペックを持たしている製品もある。

93年の後半は、モバイルコンピューティングという言葉が雑誌を賑わせました。「出先で会社のコンピュータに簡単にアクセスできる環境」、「出先でコンピュータを使ってビジネスを展開できる環境」、そんな環境の事を言うようです。しかし、これは同時に「動網」でもあるのです。そう「動網人」が夢に見ていた環境が、いろいろなメーカーから提供されはじめたのです。今までと違い、重いマシン、デスクトップ環境より劣ったマシンをおっちらこっちら運ぶ時代は終わったのです。これからは、自分の使い方にあったマシンをいろいろなメーカーから選べる時代になったのです。海外のメーカーもDOS/Vというものを利用して、日本語対応してきています。モバイルコンピューティングの本場のアメリカで売られているサブノートが日本でそれも日本語で使えるのです。国内のメーカーも負けじとサブノートを出してきています。(天の声:これを読まれているところには、国内メーカーもサブノートをラインナップしてきているでしょう。モバイルコンピューティングというキーワードの元に。)

さて、そんな環境の変化で私も黙っているわけがありません。(天の声:たんなる新し物好きなだけでないの。金もないのに新しいマシンをどんどん買って行って、どうするんだろこの男は。なに「金は天下の回り物」。ばか言え、自分の給料明細見てから言え、なに「独身貴族」。結婚したく

てもできんだけのくせして。)私はいろいろあるサブノートからIBMのThinkPad220を購入しました。CPUは、386と最新のアーキテクチャでないけど、そこそこのものがそれなりにそこそこ揃っていて、他と比べてここが優れているという点はないけど、平均点では何故か優等生というものなのです。なにより、重さがジャスト1kgというのはいいですね。OASYS-Pocketと比較しても200gしか変わらないのですから。それに大きさがA5ファイルサイズ。キーボードが小さいという人がいるかもしれませんがOASYS-Pocketを使っていた事を考えると違和感もなく、かえって叩きやすいくらいです。電源の問題も大きな要素です。TP220は、アルカリ乾電池6本で最大8時間駆動可能です。時間はともかく、街のコンビニでも簡単に手に入る単3アルカリ乾電池でOKというのは魅力です。

他のサブノートもそれぞれ特徴、個性のあるマシンばかりですから一度調べて自分自身にあったサブノートを見つけてみてはいかがでしょうか。Windowsが走るサブノートも出てきているぐらいです。選択肢には困らないと思います。動網経験者の私が動網のために選択するとしたら、一番に重さ、2番に大きさ、3番に電源事情でしょう。CPUの速度、メモリの量、HDDの容量、カラー液晶かどうか、タッチパネル、などいろいろと選択する基準はあると思いますが、何をするために買うのかを考えて選ぶのが一番でしょう。

まず、「重さ」と「大きさ」です。「いつでも持っていける」という事を考えたらこの2つは重要でしょう。いくら体力に自信があったとしても3Kgのものを抱えて歩き回るといのは、しんどいものです。それにコンピュータだけでなく、ほかにも何かと持つ必要がありますから、軽いにこしたことはない。同じ様に場所を取らないほうがいいわけで、大きさもあまり大きくないほうがいい。ただ、大きさに関してはキーボードの大きさにひびくので一概に小さい方がいいとは言えませんが。

その次の電源事情ですが、AC100オンリーというのはもってのほか。バッテリー駆動ができないと意味が無いですね。バッテリーも、容量がなくなってきたら交換できるタイプの方がいいでしょう。「バッテリーの容量がなくなったら充電するしかない」というのでは、バッテリーの意味がありませんね。乾電池で動くというのは、そういう意味で魅

力があります。ただし、乾電池はコストがかかるから充電電池と乾電池の併用が理想なのかもしれませんね。もし、電子工作に自信のある人でしたら、ACアダプタの代わりに乾電池をつけるような電池ボックスを作ってみるのもいいかもしれませんね。

IBMのThinkPadシリーズには、3年保証のEMSというシステムがあります。購入後2ヶ月以内に手続きを済ませれば、本体の故障や、盗難にたいして3年間保証してくれるという保険のようなものです。「動網」するものとして本体のこのような保険制度は安心して使えるという点でありがたいと思います。もちろん私も早速手続きを済ませています。盗難という事はそんなにあると思いませんけど、床に落とすというような事は、動網中はよくありそうです。各メーカーはこういう「安心」も売って欲しいですね。

あと、この際という事でモデムも9600bpsのポケットモデムに変えました。このポケットモデムは、FAX機能もついたモデムで、ソフトさえ揃えればパソコンで作ったテキストデータを会社や家庭にあるFAXに文書として送信できます。出先から会社にFAXを送る事もできますし、FAXに直接つないでプリンタ代わりにできるわけです。

ということで、私の動網環境が変わったお話をしてきました。読者の皆さんもネットワーク通信に興味を持ち、移動先でも通信がしたいという事になれば、今までお話しした内容を参考にして「動網活動」を始めてみてください。(天の声:誰もそんなことするわけないじゃろ!)

(了)



# 風流 京愛の俳句コーナー

石田京愛

冬。冬は何もかもが辛い季節です。でも、辛いばかりではありません。冬の晴れ渡った満月の夜はすがすがしくもあり、心が洗われるようです。寒牡丹の鮮やかな赤は私達に勇気を与えてくれます。枯れ葉の音は冬の妖精のつぶやき。木枯らしは春の足音。

冬は春への序曲……。

昨年秋に僕にとっては初めての海外旅行で、韓国へ行きました。その時の句と、やはり昨年秋に竹中さん、今号から音楽関連の記事を連載するクマさん、鈴木さん達とジャズの殿堂「ブルーノート」へ行きました。その時の句をご紹介します。クマさんと僕はブルーノートの帽子を買ってしまいました。今ではその帽子は僕のトレードマークとなっています。では、お楽しみ下さい。

### □ブルーノート

秋の宵スポットライトはソロギター

- ・ スポットライトにギターは浮かびます。

秋の夜ワインは静かジャズ響く

- ・ 静かなワインにジャズは優しく響きます。

### □冬

人の列途絶えて年の明けにけり

- ・ 静かに年は明けて行きます。

かひなへと初湯の湯気の遊びをり

- ・ 初風呂の湯気としばらくたわむれ
- て。

寒牡丹晴れて向こうの透けにけり

- ・ ツンとおすまし顔の寒牡丹。

### □韓国

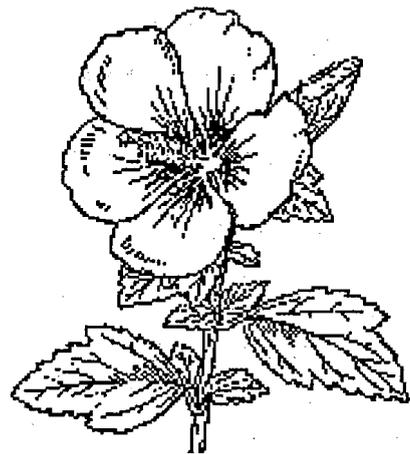
無窮花むくわんかのフェアウェルパーティーサムルノリ

- ・ サムルノリ(民族音楽)は暖かく迎えてくれます。

昼つ方ソウルの道の枯れ葉踏む

- ・ ソウルの道にひとりぼっち……。

\*無窮花むくわんかとは、韓国の国花で日本では木槿むくげに相当します。



京愛さんが、堺市の障害者作品展で「堺南ロータリークラブ賞」を受賞されました。おめでとうございます。

(編集部)

## 投句のページ

僕のページを読んで下さって（かどうかは存じませんが）、プロップステーションの会員の方から投句がありました。編集部と協議の上、これから投句があつた場合、投句コーナーを設けていただき、僭越ではございますが、京愛が担当させていただきますことになりました。

- ・ふわふわと夜長の電話蜘蛛の糸
- ・炎天下野垂れる男に目をそらす
- ・空高く病院の塔カラス立つ

ですが、僕もまだまだ精進が足りないと自覚しております。選句のみにとどめ、コメントなどは差し控えたいと思います。選句に際しては、誠に恐縮ですが、僕の日線を選句致します。編集部の方のご深慮に敬意を表します。

今回は大阪府堺市にお住まいの吉田幾俊さんからの投句です。

- ・喪があけて亡き父宛に賀状書く
- ・不作年ごはんの甘味を噛み砕く
- ・栗をむく母の手さばき家族愛

## チームメイト

今回は吉田さんからは、鈴木純子さんの巻頭詩のパロディーとカットも載きましたので、ご紹介しましょう！。

お情けの守りの大ばあ〜てい 吉田 幾俊

今宵は 年末 お情けの守りの大ばあ〜てい  
お情けたちが やってきて 暴言罵倒の言いたい放題  
恥かき べそかき 冷汗かきの〜！

どんなことでも 言っちゃいな  
心の中の模様替えだよ 大掃除  
無くした気持ちも見つかりそうだ  
月は出てない 鳥は鳴かない  
星は微笑み 木々は優しい  
誰にも 遠慮は いりません

言い過ぎたって かまわない  
隠れた言葉は 無責任  
なんだ かんだと 言ったって  
物知り顔の 仮面の裏は  
涙で くしゃくしゃ 濡れている  
闇に まぎれて 処分 処分！

生真面目すぎると 他人をなじる  
あんたが一番 生真面目すぎる  
誰もが みんな 自分のことは判らなすぎる  
人生の小さな切り株の上 コソコソと  
小リスみたいに 意味の木の實をかじっても  
いったい ぜんたい 何が見えてくるのやら？

今宵は お情けの守りのばあ〜ていさ  
いっきに 木の實を飲み込めば  
目ん玉 白黒 涙うるうる ハイホ〜さ！

今夜 眠れば 当たり前だよ 朝が来る  
そんな おいらの 好物は グラマーレディの  
「永遠が一瞬たちの結晶なんだと教えてくれる  
夢の メイプルシロップ」さ！



「謎のカバンを持つ男」 電脳うめ吉

Ver.3.1

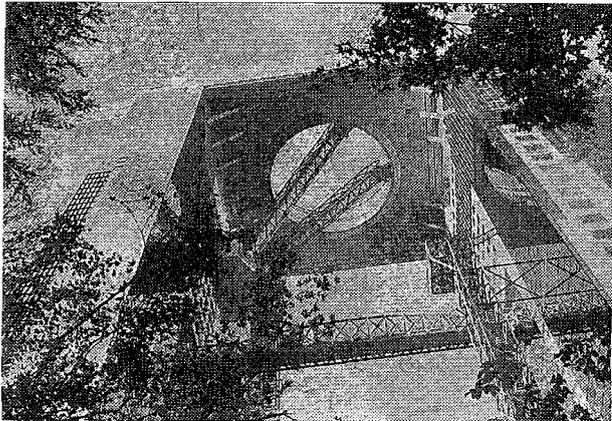
(吉田さん画)



# 観て食べ歩記 Part 1 新梅田シティスカイビル探訪

## UMEDA SKY BLDG

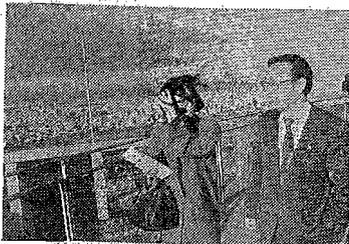
12月になってやっと寒くなってきた第1週目の土曜日、大阪の新名所「梅田スカイビル」に行ってきました。「梅田スカイビル」といってもピンとこないかもしれませんが、「空中庭園」と言えば、ああ！と言われる方も多いのではないのでしょうか？ 173mの梅田スカイビル（ツインビル）の間の最上部に空中庭園を作るため、巨大な真ん中の部分（約1,000トン）を吊上げるという非常に変わったかつ難しい建築方法がニュースにもなったほど！え？イメージできない？大丈夫！！これからじっくり写真と共にご紹介します！



中自然の森より見上げたスカイビル  
その美しさ・威圧感に圧倒される

今回、積水ハウス梅田オペレーション株式会社の松本博総務部長にご説明&ご案内いただきました。積水ハウスは「人にやさしい住宅造り」を基本コンセプトに据え、身障者用住宅の開発にも積極的に取り組んでおられる企業です。「将来、自分たちも手足、耳、目等が不自由になっていく」ということを意識し、長期的ライフサイクルを考え、住みよい家造り、街造りに取り組んでおられます。

さて、梅田スカイビル周辺は、「新梅田シティ」と



スカイビル屋上展望台より  
松本総務部長と大和なでしこ

名付けられ、開発されてきました。新梅田シティの中心が、いわゆるオフィスビルの梅田スカイビルです。ここで一番驚くのは、敷地面積約42,000平米のうち、約60%の約25,000平

米が公開空地（一般の人でも立入りできる場所）となっていることです。普通のオフィスビルではせいぜいビルの周囲約10%くらいなので、いかに広い公開空地を

設けているかがおわかりになるでしょう。

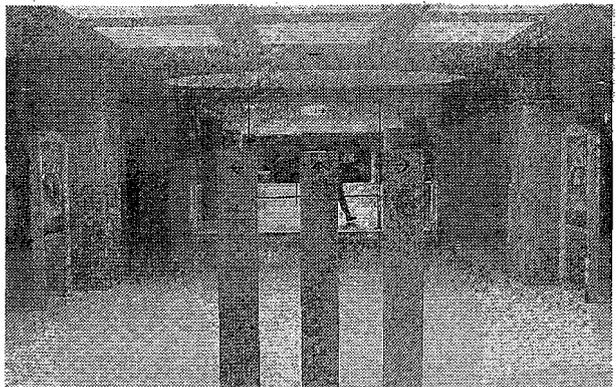
新梅田シティの構想・テーマは3つ。

「新名所作り」、「賑わいのある街作り」、「日曜日にも会社で遊ぼう！」。新梅田シティを新しい都市モデルに、と考へてのこと。特にこれまでと違った考え方は3つめの「日曜日に会社で遊ぶ」ということ。オフィス街といわれる地域は、ご存じのとおり、土曜日や日曜日は閑散としており、街がまるで死んでいるようになります。「この状況はある意味で異常。人間性、ふれあいを優先した街造りのためにも、ピクニック気分での休みの日に会社に行けることも大切」と松本さんは語って下さいました。

さらに街作りにおける4つのキーワードも紹介していただきました。

1. Hospitality (歓待) おもてなしのできる街一身体障者の方にも車いすでそのまま入れる自動ドア。トイレも当然自動ドアです。
2. Security (安全) 事故等が起こらないように係員を多く配置し、安全確保に努めています。
3. Prosperity (繁栄) 地域活性化のためのイベント等を積極的にを行い、情報発信を行っていきます。
4. Community (共同社会) 近隣に密着した街造り。このビルをコモンスペースとして、ここ「大淀」を新梅田と定義し、人々にアピールします。

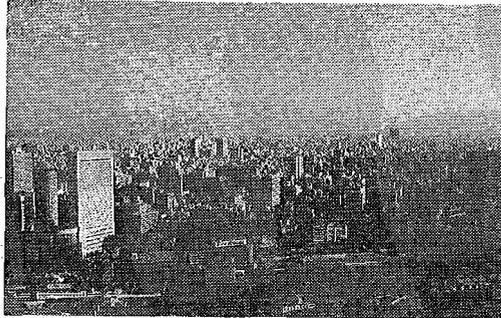
こんなこと知らなくても、きれい！おいしい！！と十分楽しめる場所ですけど、これらを知ってから行くとともに一歩突っ込んで楽しめるんじゃないかな。。。是非一度、自分の目で耳で体で体感してみたい所です。



ホテルのロビーのような入口

\*\*\* みどころ \*\*\*

空中庭園展望台 一番の見どころです！



空中展望台からの眺め  
屋上で空気に触れる試みは  
日本では初めて

屋上展望台は、視界をさえぎるフェンスなどがなく、大阪から京都、神戸、明石まで360度見渡すことができます。淀川を上から観るとちょっと感動してしまいました。冬はかなり寒いので、ご注意ください！ 車いすの場合、エレベータで40階までは行けますが、屋上展望台へは狭くて急な階段があるため、車いすのままでは行けないのが残念です。建築法の関係上、どうしても屋上までエレベータを設置することができなかったそうです。



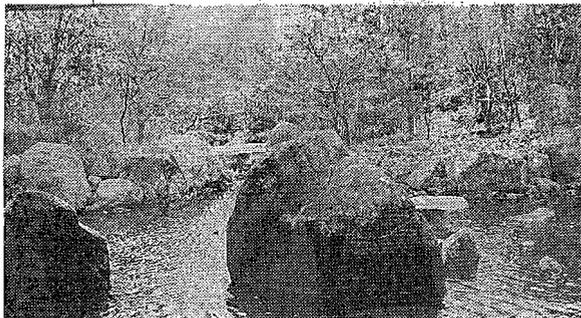
こちらは40階の展望エリア

入場料金：大人1,000円（中学生以上） 子供500円（小学生）

営業時間：10:00～22:30 最終入場時間：22:00 年中無休  
（入場時刻指定制のため、営業時間以前に入場券が完売することがあります。）

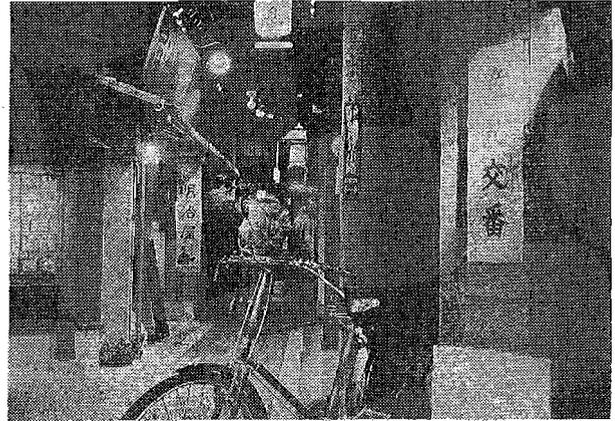
交通：JR大阪駅・阪急梅田駅より徒歩9分

中自然（森と滝） 2匹のリスが放し飼いされており、運がよければ見ることができます。超現代的な空中庭園展望台から自然に入ってきたとき、大きなギャップを感じるものの、ほっとさせてくれるなにかがここにはあるような気がしました。



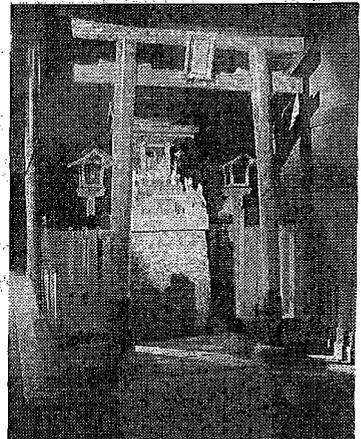
花野 私たちが訪れたのは初冬のせいもあり、あまり花は咲いていませんでしたが、春から秋にかけては美しいお花が咲きみだれているんだろうなあ、と容易に想像できる空間でした。近くに住む人達のお散歩コースにもなっているとかな。

滝見小路（1F食堂街） グルメ必見！



食いだおれ大阪のおいしくて有名な地元のお店が集合した滝見小路は、昭和初期にタイムスリップしたような気にさせる小路です。ここは店の外観等もとても凝っていて、看板や交番まで当時の雰囲気をそのまま伝えている、そんな食堂街です。外観だけでなく、一店舗ごとに味にこだわったお店が12店舗入っており、一度は行ってみたいお店ばかりです。またどのお店も募集したのではなく、

スカイビル側のスタッフがプロジェクトチームを作り本当においしい店を探して出店してもらったという、味には保証のついたお店が軒を連ねています。皆さん一度楽しんでみてください。



とにかく、これぐらいのページではとても紹介しきれない楽しさ満載のスペースです。今回はスペースの許すかぎり紹介をさせていただきましたが、一度行ってご自分で新しい発見をしてください。ただし、十分な時間を取って行かれる方がいいと思います。

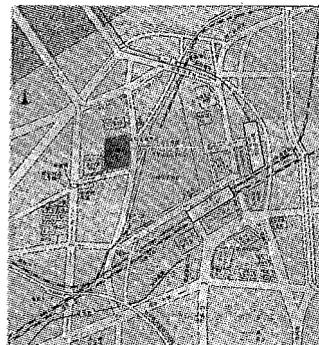


写真:KIJヤン 文:なで

# そして神戸

大阪の北ターミナルである梅田から神戸のターミナル三宮までは電車で25分の距離。神戸は坂の街、車いすでの生活には少し不便を感じる。大阪のイメージが定着してしまったプロップ・ステーションではあるが、メインスタッフの殆どが兵庫県出身ないしは兵庫県在住。その半分以上が神戸市出身ないしは神戸市在住。それならば..... (うめ吉)

\*\*\*\*\*

## (1) 六甲山

プロップ会員：あきこ

ナミねえさんが、生まれ育った神戸市。そこに昨年のゴールデンウィークから住み始めた、あきこ一家。神戸市レポート第一弾は六甲山のこと。

六甲山の地名の由来は、古代今日の大阪あたりが日本の中心であった頃、そこの人たちは、海の彼方に眺められる土地—今の西宮・芦屋・神戸の山河を海の「ムコウ」の山、里、川と呼んでいたことからそれを漢字に当てはめて「六甲」と呼んだことから付けられたそうです。もうひとつは、神功皇后が三韓への出兵からの帰途、謀反を企てた者六人の首を甲をつけたまま、切ってこの山に埋めたので、この名があるとも言われています。

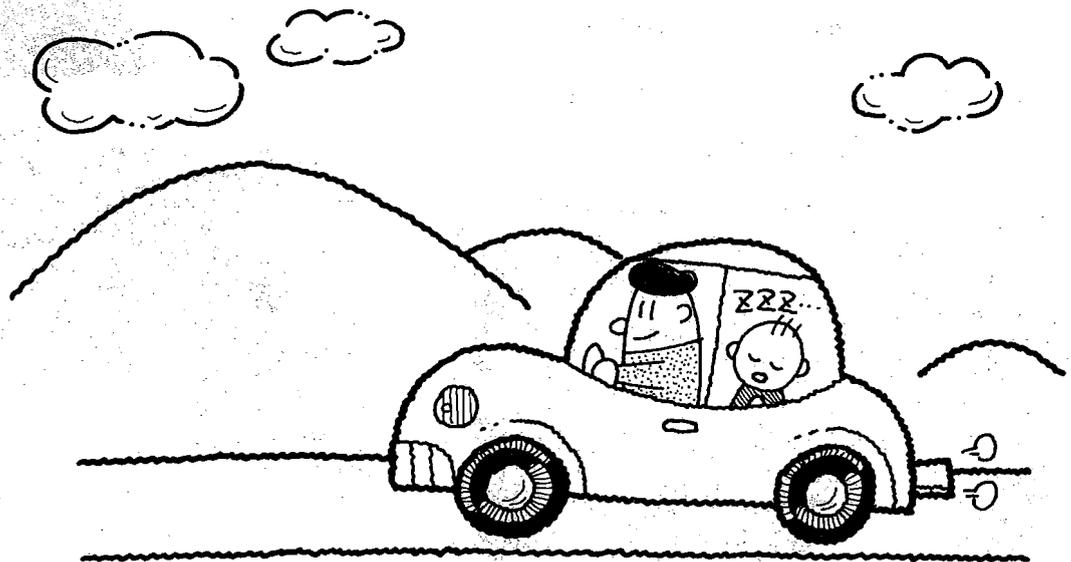
ケーブルカーまたは、バス、タクシーで山上駅に降り立ち、昭和天皇が御覧になったので、「天覧台」と名付けられた展望台から眺める阪神間の景色はすばらしい。

遠く和歌山の山々、大阪湾を望み、右から淡路島、ポートアイランド、神戸市街、六甲アイランド、芦屋シーサイドタウン、甲子園球場、生駒山などを眺めることができます。

夜景はサンフランシスコ、香港と並び、世界の三大夜景といわれています。

私たち家族が、眺めた夜景は、秋のとても空気が澄んでいた夕暮れ時。六甲アイランドのハイテクな灯り。阪神高速道路、名神高速道路が光の川となって蛇行していました。街の音というのでしょうか？どこからともなく「ゴォー」という音が私たちの足元から聴こえていました。

今日は、小雨模様の天気。JR住吉駅の上にあるSEER（シーア）の5階の展望室から六甲山系を眺めました。紅葉が錦を織るように色づき、山全体が厚い絨毯のような重厚さを醸し出しています。雨の上がった、山々から水蒸気が立ち昇り、さながら、羽衣をまとった天女のような姿をしていました。（ああ、少し着色してしまいました。（笑））



むすこが、「六甲山の頭にある雲をつかみに行こうよ。」と、言い出したので、私たち親子は、車に乗り込み、六甲ケーブル下まで行って見ました。それから、六甲山へ………とりたいところですが、息子は車の中でぐっすり夢の中。急いで家路に着きました。

最後に京愛さん御担当のおろっぶ座でひねらせていただいた句を進呈。

六甲山 錦織りなす 紅葉かな 晶子  
冬霞 眺むる我 心和みて 晶子

### 【おまけ】六甲山ケーブルカーの、車いすの利用について

まず電動車いすさん……これはちと遠慮した方がよさそう。嫌な思いをするよりは、タクシーですーっと行った方が精神衛生状態に良い。

まず、六甲ケーブル下についたら、右の坂道を上り、山小屋風の待合室からはいります。切符を購入し（あら、いくらだったか忘れました。チケットに書いてないじょ!）、神戸新聞社が恵まれない子供達のためにと設置した銅像、小便小僧を右に見て、階段をエッチラ上り、ケーブルカーへ。

この階段、段差は10cmほどですが、けっこう段数があつて持ち上げる方としてはきついかも。

「車いすの方々は、どうしているのですか?」と阪神電鉄（が営業しているのです。）の駅員さんに聞きました。

「そうですね、学生さんで車いすの方々がよく来ますが、みんな抱え上げています。ボランティアの皆さんに当面頼っています。」とのこと。

古い施設。文化施設として、文化財として大事にしたい……その心と、もっともっと、利用者の視点に立って、改善を!という熱望の心との葛藤。金銭が絡むと難しいですね、なかなか。（あきこ）

（プロップ・ネット[U B010]【Access はまころいす】ボードよりNo.39 のメッセージを一部修正して転載）

\*\*\*\*\*

## (2) 夢風船 布引ハーブ園

11月14日（日）、晴天の暖かい一日、新神戸ロープウェイに乗って晩秋の彩り豊かな六甲山の布引ハーブ園に行ってきた。

三宮までは阪急で行って、駅員にエスカレータを降ろしてもらい、2F改札へ。

1Fへ降りる場合は、改札の外にある昇りエスカレータを駅員が逆回転に操作して降ろしてくれる。東口を出て道の向側にあるステラというビルのエレベータでB2へ行けば、そこが地下鉄の三宮駅。

この日はプランタン三宮のヤング館に用があったので、阪急の2F改札からスロープを降り、JR三ノ宮駅の改札前を通って、左折。ちょーっとキツイスロープを登り（要介助：カップルの男の方に声を掛けるよろし）、陸橋を渡ってプランタンのヤング館へ。ここは、4F以上が三宮ターミナルホテルになっているのでプランタンが閉っても

うめ吉&あんじい

エレベータが使えることがある。

用を済ましてB2へ。サンチカ（三宮地下街）から地下道を通って地下鉄三宮駅へ。地下鉄は、阪急と違って特別割引の切符を改札で買わなければならないらしい。いつものように子供切符2枚を買って入ろうとしたら、駅員にしこたま文句を言われた。エレベータでホームへ降りて、乗込む。隙間も段差も5cmくらいしかないので、電動車いすなら一人で乗り降りできそう。

地下鉄新神戸駅。エレベータで改札へ。北口改札を出て新神戸オリエンタルホテルのB3～3Fにあるオーバのエレベータ（展望エレベータは混んでいるので専用エレベータを使うとよい。ただし業務用と兼用なのであまりきれいではないし、エレベータの前にドアがある）で1Fへ。オーバを横切ってオリエンタルホテルの西側に出るとそこが新神戸ロープウェイの乗り場の入口。